## 2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023年2月10日作成)

	•		(2023 午 2 万 10 日 15 )及/
小委員会名	情報設計小委員会		<b>主 査 名</b> :松本 文夫 <b>就任年月</b> :2022年4月
所属本委員会	建築計画委員会		委員長名:清家 剛
(所属運営委員会)	(計画基礎運営委員	수)	主 査 名:日色 真帆
	(田口巫, ) (田口 )		
設置期間	2022年4月 ~ 2024年3月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	空間設計に関わる情報・知識・方法、および情報世界に構成された空間の特性についての研究を行うことを目的とする。人間同士の「近接性」をコロナ禍以降の社会環境の課題ととらえた2020~2021年度の研究活動を引き継ぐ。近接性の再構築による空間設計の方法について、実空間と情報空間の両面から検討を深める。初年度:社会環境における近接性の多様な展開の整理と考察2年度:近接性の再構築にもとづく空間設計のあり方の検討		
	委員公募の有無:無		
委員構成 (委員名(所属))	主査: 松本 文夫(東京大学) 幹事: 湯本 長伯(社会構造設計研究所 APPI)、村上 晶子(明星大学) 委員: 鯵坂 徹(鹿児島大学)、石田 壽一(東北大学)、伊藤 雅春(明星大学)、 宇都宮 雅人(伊藤喜三郎建築研究所)、河崎 昌之(和歌山大学)、 佐藤 淳(東京大学)、松本 正富(京都橘大学)、山岡嘉彌(山岡嘉彌デザイン)、 米田 正彦(明星大学)		
設置 WG (WG 名:目的)			
		ホームページ公開の有無:有	

項目	自己評価
委員会開催数	5回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	公開研究会 「岡部憲明講演討論会―多様な経験を通してデザインプロセスを語る」 参加者数 42 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 大会学術講演会において当小委員会から3本の研究発表を行った 2. 研究テーマの「近接性」を空間設計に結びつける議論を研究会で行った
委員会活動の問題点 ・課題	対面と遠隔の両面的な方法による活動の活発化(研究目的にも関係する)